

2016年5月 千葉県袖ヶ浦市

ルリ邸

秘密? 完成見学会

5月21日(土) ~ 22日(日)

※ AM10:00 ~ PM4:00まで

(有)フタバおカ工務店
0470-68-4848
ホーミング見つけ

※ 吹付ウレタン

※ ハリボンの床暖房

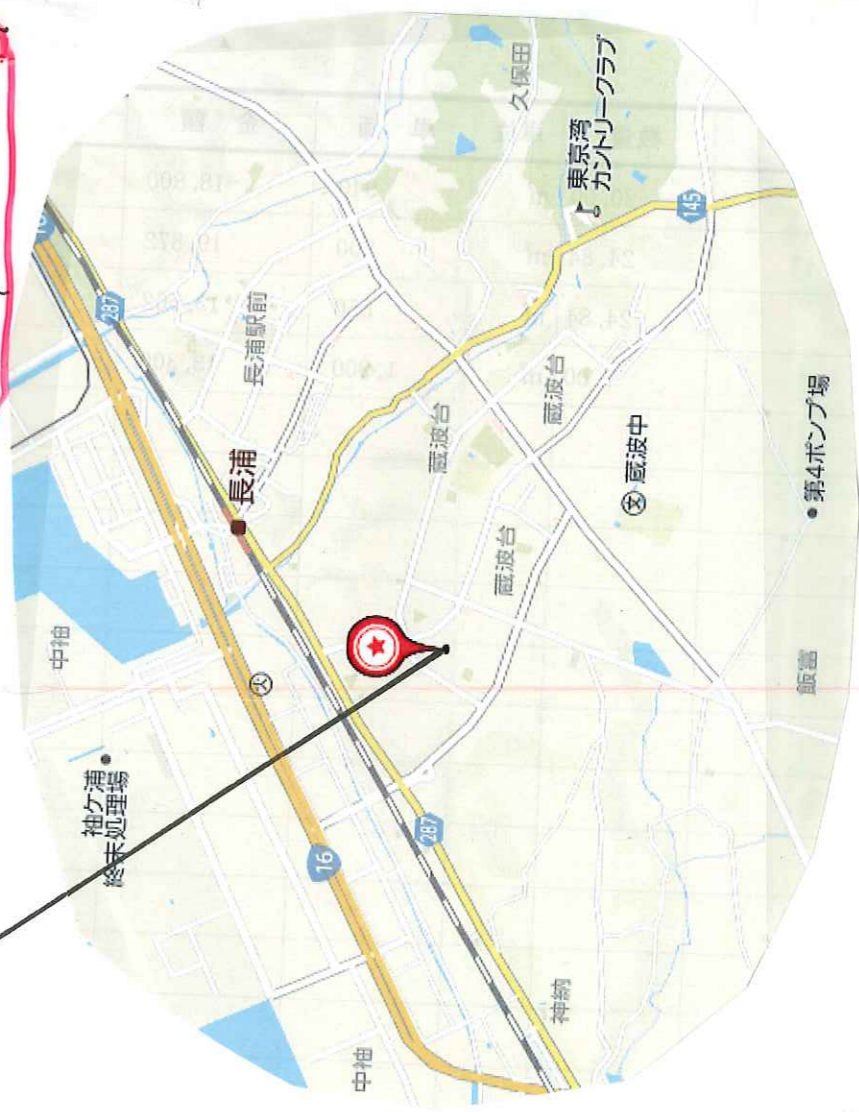
※ 断熱樹脂サッシ

※ AIアリの対策



千葉県袖ヶ浦市蔵波台2-19

場所不詳なため: 090-3210-4596まで
お問い合わせ



わたしのいえみたくてね
おまちします。



真っ青な空に浮かび上がるようなレンガト白いサイディングがアーリーアメリカンな印象を強調するM邸外観。そんなサーファーズハウスには軽トラックも良く似合う

高台に建つサーファーズハウス

千葉県御宿町 M 邸

プレミアムな
家づくり
07

海のそばではなく、2階ロフトの窓から水平線が見える丘の上のサーファーズハウス。オフのための家だから、家づくりも生活も暮らしぶりも「あーだ、こーだ」と楽しみながら作り上げていくのだ。





- ⑥⑦ Mさんご主人が積極的に料理をすることから、オフの生活とはいえ大きなキッチン配した
- ⑧ アメリカンタイプの輸入バスルームの洗面システムを採用

BUILDER'S NOTE

サーフィンを趣味とされて別荘のように使用されるM邸は、たくさんの仲間も訪れるため大きなリビングを確保し、基本的にロフトのある(2階部分)平屋タイプとしました。サーファーズハウスだから海上がりのお風呂への動線も考慮し、リラックスできるようにバスルームはジャクジーとシャワーブースを配しました。お料理も作られるのでキッチンは使いやすいように個性的な造作で仕上げました。外観もレンガを使用して高級感のある仕上がりになりました。

③ ツーバイフォーの大空間を確保した1階リビング&ダイニング

TSURUOKA

General Construction co.

有限会社 つるおか工務店

〒299-5102
千葉県夷隅郡御宿町久保 2039
TEL : 0470-68-4848
FAX : 0470-68-5499
http://www.daiku.co.jp/

DATA

千葉県御宿町 M 邸
敷地面積 / 333㎡ (100 坪)
延床面積 / 118㎡ (35.75 坪)
1 階 / 130.01㎡ (39.32 坪)
2 階 / 33.53㎡ (10.14 坪)
用途地域 / 第一種低層住居専用地域
構造 / 木造在来工法、平屋
間取り / 3LDK
設計・施工 / (有) つるおか工務店
家族構成 / 2 人

MATERIAL

- 外部仕上げ
屋根 / ガルバリウム鋼板葺き
外壁 / ラップサイディング
(ペンキ仕上げ)
- 内部仕上げ
床材 / バイン材、一部タイル仕上げ
壁 / ビニールクロス仕上げ
天井 / ビニールクロス仕上げ
天井 / 米杉パネリング



④ 大きな吹き抜けの上にはロフトではなく2階の居室とした。完璧な音響設備を置いた自由スペース。この場所から窓を通して遠くに海も見える
⑤ バスルームには輸入ジャクジーとシャワーブースを分けて配置した



2

①奥様の星座を表したバー「カプリコーン」は乾いた風が吹き渡るようなカリフォルニアスタイルで
 ②となりのパーティールームは一転アジアチックなバリスタイル。天井や柱の木の現わしを削りダメージを与えて風合いを出した



1

施 主のMさんは26歳で突然サーフィンを止め、長いブランクのあとで50歳になってもう一度海へ復帰した。仕事は東京が中心だから、千葉の海にはオフタイムにやってくる。御宿の高台にある土地を確保してから、家づくりは地元で代々続くおか工務店にオツプアーした。「あーだ、こーだと言いなながら良い家を作りましょう」というのが会社のモットーだから、「あーだ、こーだやりましょう！」というわけだ。Mさんはおもしろい家づくりと一緒に楽しくてくれる工務店を探していたのだ。

海のすぐそばでなく、遠くに海が見える土地を選んだ。御宿周辺の高台の住宅地は、遠くに海が見える。M邸でもロフトの窓から沖のリーフにだけける波が見えて、ビーチの波も予測できるのだ。

大きな敷地に個性的な住宅が並ぶ御宿の丘。真っ青な空を背景にアーリーアメリカンなM邸外観が映える。

さて、その家の各部屋の作り込みも実に楽しいものだ。

ツーバイフォーの大空間を利用した大きなリビング。一階にはバリ風のパーティールームともうひとつカリフォルニアスタイルのカウンターバー「カプリコーン」を作った。いろんなシーンでいろんな仲間と過ごせるふたつの空間だ。実質的な二階はロフト風で、完璧な音響設備を置く自由空間とした。

M邸はまだまだ未完成のようだ。次から次へと練り広げられる新しいアイデアが完成を邪魔するように、施主と工務店のやり取りも「あーだ、こーだ」とまだまだ終わりがなさそうだ。